

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【公表番号】特表2008-504343(P2008-504343A)

【公表日】平成20年2月14日(2008.2.14)

【年通号数】公開・登録公報2008-006

【出願番号】特願2007-518585(P2007-518585)

【国際特許分類】

A 6 1 K	8/49	(2006.01)
C 0 9 K	3/00	(2006.01)
A 6 1 Q	5/00	(2006.01)
A 6 1 Q	17/04	(2006.01)
A 6 1 K	8/891	(2006.01)
A 6 1 Q	19/08	(2006.01)
C 0 7 D	309/34	(2006.01)
C 0 7 D	239/26	(2006.01)
C 0 7 D	405/06	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	8/49	
C 0 9 K	3/00	1 0 4 B
C 0 9 K	3/00	1 0 4 Z
A 6 1 Q	5/00	
A 6 1 Q	17/04	
A 6 1 K	8/891	
A 6 1 Q	19/08	
C 0 7 D	309/34	
C 0 7 D	239/26	
C 0 7 D	405/06	

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月20日(2008.6.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

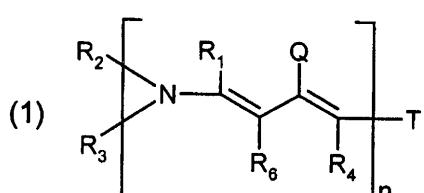
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

紫外線の悪影響に対して、ヒトの毛髪及び肌を保護するための、式

【化1】



〔式中、

Qは、水素原子；炭素原子数1ないし22のアルキル基；-OH；-OR₇；-NR₇R₈；又は-N=R₉を表わし；

R_1 は、水素原子；炭素原子数1ないし22のアルキル基；-OR₇、-SR₇；-NR₇R₈；炭素原子数1ないし22のアルキル基；炭素原子数2ないし12のアルケニル基；炭素原子数2ないし12のアルキニル基；炭素原子数3ないし12のシクロアルキル基；炭素原子数3ないし12のシクロアルケニル基；炭素原子数7ないし12のアラルキル基；炭素原子数1ないし12のヘテロアルキル基；炭素原子数2ないし11のヘテロアラル基；炭素原子数6ないし10のアリール基；又は炭素原子数1ないし9のヘテロアリール基を表わし；

R_4 は、シアノ基；COR₇；COOR₇；CONR₇R₈；SO₂（炭素原子数6ないし12の）アリール基；炭素原子数1ないし12のアルケ-1-エニル基；炭素原子数3ないし12のシクロアルケ-1-エニル基；炭素原子数2ないし12のアルキ-1-イニル基；炭素原子数2ないし12のヘテロアルキル基；炭素原子数3ないし5のヘテロシクロアルキル基；炭素原子数6ないし10のアリール基；又は炭素原子数1ないし9のヘテロアリール基を表わし；

R_5 は、-COR₇；-COOR₇；-OR₇；-SR₇；-NHR₇；-NR₇R₈；炭素原子数1ないし22のアルキル基；炭素原子数2ないし12のアルケニル基；炭素原子数2ないし12のアルキニル基；炭素原子数3ないし12のシクロアルキル基；炭素原子数3ないし12のシクロアルケニル基；炭素原子数7ないし12のアラルキル基；炭素原子数1ないし12のアルキルフェニル基；炭素原子数1ないし12のアルコキシ-炭素原子数6ないし10のアリール基；炭素原子数1ないし12のヘテロアルキル基；炭素原子数2ないし11のヘテロアラル基；炭素原子数3ないし12のシクロヘテロアルキル基；炭素原子数6ないし10のアリール基；炭素原子数1ないし12のアルコキシ-炭素原子数6ないし10のアリール基；又は炭素原子数1ないし9のヘテロアリール基を表わし；

R_6 は、水素原子；炭素原子数1ないし22のアルキル基；炭素原子数1ないし22のアルコキシ基；又はCOR₇を表わし；

R_7 及び R_8 は、互いに独立して、水素原子；炭素原子数1ないし22のアルキル基；炭素原子数2ないし12のアルケニル基；炭素原子数2ないし12のアルキニル基；炭素原子数3ないし12のシクロアルキル基；炭素原子数3ないし12のシクロアルケニル基；- $(CH_2)_tCOOH$ ；炭素原子数7ないし12のアラルキル基；炭素原子数1ないし12のヘテロアルキル基；炭素原子数2ないし11のヘテロアラル基；炭素原子数6ないし10のアリール基；炭素原子数1ないし9のヘテロアリール基；Si-R₁₀R₁₁R₁₂；Si(OR₁₀)(OR₁₁)(OR₁₂)；SiR₁₀(OR₁₁)(OR₁₂)；SiR₁₀R₁₁(OR₁₂)；- $(CH_2)_u-O-(CH_2)_v-SiR_{10}R_{11}R_{12}$ ；又は基X-Si1を表わし；

t 、 u 及び v は、互いに独立して、1ないし5の数を表わし；

R_9 は、（炭素原子数1ないし6の）アルキリデン基を表わし；

R_{10} 、 R_{11} 及び R_{12} は、互いに独立して、炭素原子数1ないし22のアルキル基を表わし；

Xは、結合を表わし；

Si1は、シラン-、オリゴシロキサン-又はポリシロキサン基を表わし；

R_1 及び R_2 、 R_1 及び Q 、 R_1 及び R_6 、 R_1 及び T 、 R_2 及び R_3 、 R_2 及び R_4 、 R_2 及び R_6 、 R_2 及び Q 、 R_4 及び R_6 、 R_4 及び T 、 R_6 及び Q 、 T 及び Q は、互いに独立して、一緒に結合して、1、2、3又は4つの、炭素環又はN、O及び/又はS-複素環を形成し、ここで、それらの各々は、互いに独立して、1つの芳香族環又は複素芳香族環、及び/又はそれ以上のN-、O-及び/又はS-複素環と縮合し得り、そしてN-複素環の各N原子は、炭素原子数1ないし22のアルキル基で置換され得り；

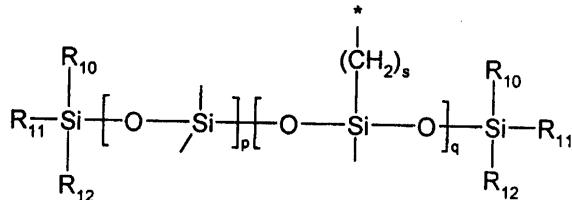
nは、1ないし4の数を表わし；ここで、基 R_1 、 R_6 又は Q の少なくとも1つは、水素原子とは異なり；

$n=1$ の場合、

Tは、-COR₅；-CN；炭素原子数6ないし10のアリール基；-NHR₅；又は-SO₂-（炭素原子数6ないし12の）アリール基を表わし；

R_2 及び R_3 は、互いに独立して、炭素原子数 1 ないし 2 2 のアルキル基；ヒドロキシ - 炭素原子数 1 ないし 2 2 のアルキル基；炭素原子数 2 ないし 1 2 のアルケニル基；炭素原子数 2 ないし 1 2 のアルキニル基；炭素原子数 3 ないし 1 2 のシクロアルキル基、炭素原子数 3 ないし 1 2 のシクロアルケニル基；炭素原子数 7 ないし 1 2 のアラルキル基；炭素原子数 1 ないし 1 2 のヘテロアルキル基；炭素原子数 3 ないし 1 2 のシクロヘテロアルキル基；炭素原子数 6 ないし 1 0 のアリール基；炭素原子数 1 ないし 9 のヘテロアリール基；又は式

【化 2】



で表わされる基を表わし；

p は、5 ないし 1 0 0 の数を表わし；

q は、1 ないし 5 の数を表わし；

s は、0 ないし 4 の数を表わし；

$n = 2$ の場合、

R_2 及び R_3 は、互いに、炭素原子数 1 ないし 5 のアルキレン基を表わし；かつ同時に、T は、 $n = 1$ の場合と同様に定義されるか；又は、

T は、式 - $N R_7 - V - N R_7 -$ (式中、V は、フェニレン基；又は炭素原子数 1 ないし 5 のアルキレン基を表わし； R_7 は、水素原子；又は炭素原子数 1 ないし 5 のアルキル基を表わす。) で表わされる 2 値の基を表わし；かつ同時に、 R_2 及び R_3 は、 $n = 1$ の場合と同様に定義され；

$n = 3$ の場合、

R_2 、 R_3 又は T の 1 つは、3 値の基を表わし；

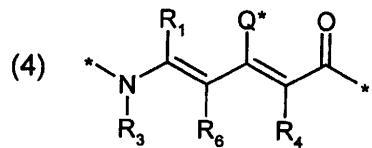
$n = 4$ の場合、

R_2 、 R_3 又は T の 1 つは、4 値の基を表わす。] で表わされる化合物の使用。

【請求項 2】

式

【化 3】



(式中、アステリスク付きの基の少なくとも 1 つは、モノマー状又はポリマー状の基と結合され；

R_1 、 R_2 、 R_4 及び R_6 は、請求項 1 で定義した通りである。) で表わされる構造成分を有するモノマー状及びポリマー状化合物。

【請求項 3】

シワ取り知覚改善剤 (anti-wrinkle perception modifier) としての、請求項 1 に記載の式 (1) で表わされる化合物の使用。

【請求項 4】

化粧品的に許容可能なキャリヤー又は補助剤と共に、請求項 1 に記載の式 (1) で表わされる化合物を少なくとも 1 種含む化粧品。

【請求項 5】

(a) 各々 0.02 ないし 2 μm の粒子サイズを有する、微粉末化された少なくとも 1 種

の請求項 1 に記載の式 (1) で表わされる紫外線吸収剤、及び
(b) 適当な分散剤
を含む、紫外線吸収剤分散体。